



31 AWABI クラフト

青森県立種差少年自然の家



○活動の概要○

アワビ（鮑）の貝殻を加工して、自分だけのアクセサリー（キーホルダー、ストラップ等）を作ります。貝殻の内側の美しさを生かしながら、外側に着色するのも楽しい作業です。

1 ねらい

自然の素材を用いて、想像力を働かせたり素材の持ち味を生かしたりしながら、自分だけの作品を作ることにより、自然物のよさや創作の楽しさを感じさせます。
(小学校 理科/図画工作 中学校 技術家庭科)

2 場所・人数・期間・時間

- ① **場所・人数** 大ホール 150人以内 自然観察室、小ホール 40人以内
個人でもグループでも可能（作業台は6～8人が最適）。
プレーホール（150人以内）も可。
- ② **期間** 通年
- ③ **時間** 30分～1時間程度 ※ 人数が多い場合は1～2時間

3 職員の支援について

物品貸出し時に職員がつきます。

4 準備物

区分	準備物	備考
団体	・特になし	
個人	・軍手	
自然の家	アワビの貝殻 ・貝殻（小さいものから大きいものまで） ・金槌・ニッパー・作業板（金槌で割る時の台） ・金やすり・紙やすり（粗目）・電動ドリル ・ペイントマーカー・ウェットティッシュ ・キーホルダー1・ストラップ1・連結リング ・シリコンスプレー・テーブルクロス・新聞紙 ・「AWABI クラフト」の見本	・1セット 60円 (キーホルダー1 ・ストラップ1) ※2個作ることができる。 1個しか作らない場合、 もう1個は持ち帰る。
斡旋可能	「AWABI クラフト」セット	60円

5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

- ① 用具の準備と諸注意
- ② 作り方の説明
- ③ 製作
- ④ まとめ・片づけ

7 その他

・時期により、アワビの貝殻を自然の家の周りで採集する活動を組み入れることもできます。

《資料》 「AWABI (アワビ) クラフト」の作り方

①「AWABI (アワビ) クラフト」の見本を見る

- ・見本を見て、自分が作る作品のイメージをもつ。原則1人2個で**60円**。
(キーホルダー1、ストラップ1)

※「外側が黒いアワビ」……「着色する」場合に使う。

「外側がきれいな色のアワビ」……「着色しない」で、そのまま使う。

②アワビを割る

- ・アワビを選び、作業板の上に載せて金槌で割る。大き目のアワビだと1つで2～3個分の素材になる。金槌を使わずに、最初からニッパーで切り始めることも可能。
- ・小さいアワビは、そのまま使うこともできる。
- ・汚れがある場合は、ウェットティッシュ等でふき取る。

③アワビを加工する

- ・割ったアワビに、サインペンで作りたい形(線)を描く。その線に沿って、ニッパーで少しずつ切り、だいたい形にする。アワビは割れやすいので、少しずつ切る。だいたい形になったら、やすりで整える。切断面が滑らかになるようにする。
- ・形によって、「紙やすり」と「金やすり」を使い分ける。
- ・割ったアワビの形を、「そのまま生かす」方がやりやすい。複雑な形は無理。

④アワビに、ドリルで穴を開ける

- ・穴を開ける位置を決めて、サインペンで印をつける。
- ・大人に電動ドリルで穴を開けてもらう。穴を開ける場合は、ゆっくりやらないと割れるので注意。

⑤アワビに着色する(着色しなくてもよい)

- ・アワビの外側にペイントマーカーで着色する。アワビの素材を活かす場合は着色しない。

⑥「強度を増す・光らせる」ために「シリコンスプレー」(アクリルスプレー)を吹き付ける

- ・新聞紙の上に載せて、両面にスプレーする。すぐに乾く。
(「レジン」を塗る方が美しくなるが、必ず紫外線を当てないと乾かない。)

⑦開けた穴を利用し、キーホルダー・ストラップをつける。

